

単元名 言葉から想像を広げて(絵)

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 詩や短歌、物語から感じたことを形や色でとらえ、表し方を工夫して絵に表現することができる。
- (2) 詩や短歌、物語から想像を広げ、形や色などの構成を考えるとともに、友達や自分の作品から自分の見方や感じ方を深めることができる。
- (3) 詩や短歌、物語から想像を広げ、主体的に絵に表す活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

06080202_001

【準備等】画用紙、色画用紙、水彩用具一式、サインペン、コンテ、パス、クレヨン

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 今までに読んだ詩や短歌、物語で、自分の心が動かされた場面を思い出し、構想を練る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の作品の表現のよさや面白さ、工夫した点などについて話し合う。 <p>★心に残った言葉から想像を広げて絵に表そう</p> <ul style="list-style-type: none"> 印象に残っている詩や短歌、物語を思い出し、どんな場面か、そのときどんな気持ちだったのかを発表する。 簡単なスケッチをし、構想を練る。 <p>2 スケッチを基に、下絵をかく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 画面構成を考えて下絵をかく。 <ul style="list-style-type: none"> 表したいことの明確化 描画材料の選択 表し方の工夫 表現を工夫する。 <p>3～5 想像している情景が伝わるように技法を工夫しながら彩色する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中心になるものの調子を整えながら、彩色する。 <ul style="list-style-type: none"> 中心になる色 対比する色 パスなど水彩絵の具以外の材料を組み合わせる。 全体の調子を整えながら、作品を完成させる。 <ul style="list-style-type: none"> 全体の色の調和 全体の色のバランス <p>6 友達の絵を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 思いを作品カードに記入する。 友達の作品のよさをみんなで話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 「○○」という言葉から具体的な形を使わず、色で表しているところが印象に残りました。 絵の具だけでなく、色鉛筆でぼんやりさせたところが優しい感じがします。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 5・6下 P.42, 43 教科書の作品を基に主調色や描画材料、表現などについて理解を深めるようにする。 日頃から、読書に親しませておく。 発表を板書して、どういう場面かを具体的にイメージさせる。 スケッチの段階で、教師は児童の思いを理解し、構図や表現の選択などを助言する。 下絵はスケッチを基に画面構成を考えてかかせる。 自分が一番表現したいものを中心にして、周りの様子をとらえさせる。 表現をより効果的にするために、省略や強調などをして構図を工夫することを伝える。 【評】言葉から想像を広げ、形に表す活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 参考作品を提示しながら、技法面での工夫を紹介する。 中心になる色を決め、対比する色を意識させながら、画面の広がりや深まりを表す工夫ができるように支援する。 絵の具の上からパスでかくなどの工夫を助言する。描画材料を組み合わせることで作品に深みが出ることに気付かせる。 途中で、自分の意図しているものが表現されているか、確認させる。 【評】言葉から想像を広げた情景を色や形で表現する活動を通して、「知識・技能」を評価する。 【評】言葉から想像を広げ、絵に表す活動の様子を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 友達の作品に対する思いやそのよさを感じ取らせる。 作品から受けた印象を友達同士で発表し合うと、お互いの感じ方の違いを知ることができる。 【評】友達の作品のよさや美しさを感じ取る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 【評】これまでの学習活動や作品を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】

他教科等との関連

国語科で読んだ詩や物語を基に活動することもできる。文章を読んで自分なりの考えをまとめたり、思いを広げたりすることは国語科の「〔思考力、判断力、表現力等〕C読むこと(1)」にもつながる。